

ポリシーブック



令和6年10月

愛知県農協青年組織協議会

JA青年組織綱領

我々JA青年組織は、日本農業の担い手としてJAをよりどころに地域農業の振興を図り、JA運動の先駆者として実践する自主的な組織である。

さらに、世界的視野から時代を的確に捉え、誇り高き青年の情熱と協同の力をもって、国民と豊かな食と環境の共有をめざすものである。

このため、JA青年組織の責務として、社会的・政治的自覚を高め、全国盟友の英知と行動力を結集し、次のことに取り組む。

1. われらは、農業を通じて環境・文化・教育の活動を行い、地域社会に貢献する。

JA青年組織は、農業の担い手として地域農業の振興を図るとともに、農業を通じて地域社会において環境・文化・教育の活動を行い、地域に根ざした社会貢献に取り組む。

1. われらは、国民との相互理解を図り、食と農の価値を高める責任ある政策提言を行う。

人間の「いのちと暮らし」の源である食と農の持つ価値を高め、実効性のある運動の展開を通じて、農業者の視点と生活者の視点を合わせ持った責任ある政策提言を行う。

1. われらは、自らがJAの事業運営に積極的に参画し、JA運動の先頭に立つ。

時代を捉え、将来を見据えたJAの発展のため、自らの組織であるJAの事業運営に主体的に参加するとともに、青年農業者の立場から常に新しいJA運動を探求し、実践する。

1. われらは、多くの出会いから生まれる新たな可能性を原動力に、自己を高める。

JA青年組織のネットワークを通じて営農技術の向上を進めるとともに、仲間との交流によって自らの新たな可能性を発見する場をつくり、相互研鑽を図る。

1. われらは、組織活動の実践により盟友の結束力を高め、あすの担い手を育成する。

JA青年組織の活動に参加することによって、個人では得られない達成感や感動を多くの盟友が実感できる機会をつくり、このような価値を次代に継承する人材を育成する。

(注釈)本綱領は、JA全青協設立の経過を踏まえて「鬼怒川5原則」「全国青年統一綱領」の理念を受け継ぎ、創立50周年を契機に現代的な表現に改めるとともに、今後目指すべきJA青年組織の方向性を新たに盛り込んだものである(平成17年3月10日制定)。

目次

1. 青年組織盟友の増加

2. 農政活動

3. 食農教育活動

1. 青年組織盟友の増加

<背景>

これまで愛知県農協青年組織協議会はJ A青年組織綱領を実現すべく、盟友同士が力を合わせ、様々な活動を展開してきた。しかし、愛知県の盟友数は、年々減少の一途をたどっており、交流会や各種活動に対しても参加者は減少している。新型コロナウイルス感染症以降、コミュニケーションの取り方の多様化によって、間接的な交流が多くなり、直接会って交流を深める意識が低下したと考えられる。

これからの愛知県の農業を担う青年組織盟友が、地域農業を牽引していく人材として、青年組織活動を通して自己を高め、互いに切磋琢磨できる環境をつくるためには、盟友が参加したいと思う活動を企画し交流の場を増やすことが必要である。加えて、これらの活動を青年組織に所属していない若手農業者に広め、盟友数の増加につなげていくことが重要である。

<現状と課題>

- ① 今後営農の可能性を広げられる知識や技術の習得、盟友との交流や情報交換によって将来の農業について議論できる仲間やJ A役職員との関わりが得られるなどのJ A青年組織のメリットを青年組織に所属していない若手農業者伝えられていない。
- ② オープンチャットの設置、合同会議など県青協側からの情報発信についてはある程度行われている。一方、各J A青年組織と県青協での双方向の情報伝達が確立されていないため、盟友の求めている情報の吸い上げが機能していない。
- ③ 県青協として、発表大会、盟友交流イベント、合同会議など盟友同士が交流できる場を設置することは出来ている。一方、参加率は芳しくない。

<解決策>

(1) 県青協として行うこと

- ・ J A青年組織の盟友の拡大、盟友の結束などに資する活動に対して助成があることを合同会議等において、周知するとともに、より青年部を活性化するために助成内容を適宜見直し、合同会議等で盟友へ情報を周知する。…②③
- ・ 盟友の繋がりを作るために盟友が交流できる場を提供する。…①②③
- ・ 発表大会など県青協活動後にアンケートを取り、活動の振り返りと改善のため、役員会で反省会を行い、その内容を次回に活かしていく。特に、県青協イベントの参加者・組織を増やすため、盟友が集まりやすい会場での活動開催や合同会議など複数イベントの併催など、開催方法を検討する。…②③

(2) J Aや中央会・連合会と一体となった取り組み

- ・ 中央会に会議・活動の開催、運営等県青協活動への支援を引き続きお願いするとともに、魅力ある活動を共に行うための協議をお願いする。…①②
- ・ J A・連合会と協力し、意見交換会など盟友の声をJ Aや中央会・連合会に届けるイベントを開催する。…③
- ・ J Aや中央会・連合会の広報等を活用し、各青年組織活動や盟友との交流、情報交換など、青年組織活動の参考となる情報を発信する。…①

2. 農政活動

<背景>

愛知県農協青年組織協議会は、J A愛知中央会とともに農業者の現状と課題を国政に対して発信し、営農を持続していくために農政活動を行ってきた。

日々著しい変化と見通しの立たない状況が続く現代において、他産業と比べ個々の経営規模が小規模であり、物価高やコストカットのしわ寄せが大きくなるなど、農業者の置かれている状況は厳しさを増している。盟友自身は、その危機感を感じているが、作目によっては政策による支援があるのが当たり前という認識があり、政治の仕組みや意義について関心が薄い。

また、政治家は、農業の現場をきちんと把握できておらず、政治家の認識と現場の実情との齟齬が生じている。したがって、盟友自身が農業政策に関心を持ち、政治に対して声を発し続けることが必要不可欠である。

<現状と課題>

- ①盟友が政治の意義や仕組みを把握しておらず、政治に対して興味がない。
- ②政治家が現場を正確に把握しておらず、現場の声と政治で扱われている内容に齟齬が生じている。
- ③申請しやすく使いやすい補助金や助成金について、多くの盟友が具体的な内容を把握していない。
- ④会議の場では、農政に関する情報や県青協の農政活動を盟友に向けて発信できているが、農政活動結果は明確に報告できていない。

<解決策>

(1) 県青協として行うこと

- ・盟友が政治の仕組みや意義について学ぶ機会を設ける。…①③
- ・国会議員や行政との農政に関する意見交換会を開催し、農業者の置かれている状況・課題を発信する。…②
- ・オープンチャットや本協議会主催の会議体を活用し、農政に関する情報や県青協の農政活動を盟友に発信する。…①④

(2) J Aや中央会・連合会と一体となった取り組み

- ・国会議員や県議会議員等との意見交換会を定期的で開催し、現場の実情を伝える。
また、農業の実情を伝えるだけでなく、農政の現場での苦勞など政治の実情を報告してもらい、相互に歩み寄りより深い関係を築く場を作る。…①②
- ・政治家と情報共有するために、中央会・連合会との連携を密にし、実情を間接的に政治家に伝える。…②

(3) 行政への提案及び要望

- ・我々青年農業者が農業を継続できることが国民のためになることを訴え、申請しやすく使いやすい補助金となるよう、国や県に要望する。…①②③④

3. 食農教育活動

<背景>

愛知県農協青年組織協議会は、これまで地域の人々に対して、農業をより深く知ってもらうため、各JA青年組織の食農教育活動を推進・支援してきた。

これまで農作業体験や出前授業、生き物調査など、多くの活動を行っているものの、昨今の肥料や飼料といった生産資材価格の高騰や、それに伴う適正価格販売による生産者の所得確保といった農業の実情への消費者理解は得られていない。

適正価格・再生産価格を確保するためには、我々が消費者の抱える物価高等の課題を理解した上で、高騰が続く生産資材の購入や生産者の所得確保ができる適正価格販売への消費者理解を求め、日本の食と農を次世代へ繋げるといふ消費者意識の醸成が必要である。

我々はJA青年組織に所属するものとして、農業の実情について正しい情報発信を行い、食と農に対しての国民の意識改革を先導しなければならない。

<現状と課題>

- ①農産物の販売価格に再生産価格が適正に反映されていない。また、再生産価格を農業者自身が把握していない。
- ②消費者が農業者の置かれている実態を正確に把握していない。また、農業者も消費者の実態を把握していない。
- ③メディアから正確な情報発信がされていない。また、県青協からの情報発信もうまく行っていない。
- ④SNSの活用等時代に応じたアプローチができていない。

<解決策>

(1) 県青協として行うこと

- ・盟友が食農教育活動や青年組織活動の意義や取り組みについて理解できる学習の機会を設ける。…①②
- ・農林水産フェアなど消費者と顔を合わせる場所で、農家の現状を伝えるとともに、消費者の考えや課題を共有する。…①②
- ・消費者に対する国産農産物の魅力や農業に対しての正確な知識、食の大切さについて、青年組織主催の食農教育活動を通してPRする。…②
- ・県青協の合同会議などで情報交換を行い、各JA青年組織の食農教育活動の現状と課題の共有や県青協への要望の吸い上げを行う。要望については、役員会で協議・選択を行った上で、県青協の食農教育活動に反映させる。…①②

(2) JAや中央会・連合会と一体となった取り組み

- ・青年組織活動や食農教育活動について、広く消費者向けに発信してもらえよう、JAや中央会・連合会に情報提供する。…①②③④
- ・青年組織代表者とJA連合組織との意見交換の場を継続して実行し、相互に食農教育活動の支援要望を共有し、一体となった食と農の消費者理解促進に向けた活動を行う。…①②

(3) 行政への提案及び要望

- ・国や県に魅力ある農業の情報発信を引き続き行っていただき、農業の環境負荷低減のための取り組みや、世界情勢の激化を背景とした再生産価格維持が困難となってきた実情についての正しい情報発信を要望する。…①②③
- ・国産農産物を勧める食のエキスパートだけでなく、農業実情についても発信できる「農」のエキスパートも必要であるため、正確な農業事情を消費者に伝えられる「食」と「農」を兼ねそろえたエキスパートを育成していただくよう要望する。…①②
- ・人口増加に伴う食糧危機対策として、規格外や生産調整により活用されず破棄される農産物に注視した対策を要望する。…②